

お子さんを支える様々な仕組み

▶ 特別支援教室(サポートルーム) 中学生

集団活動への参加が困難だったり、コミュニケーションに課題があるお子さんが、在籍校に設置されたサポートルームで一人ひとりの困難さに応じた個別指導計画をもとにスキルを学びます。

▶ 発達の特徴が気になったら

発達の特徴によって本人に合った学習スタイルでしか学ぶことが難しい、こどもたちもいます。家庭でかえ込まずに、相談しましょう。

▶ サポートブックかけはし

幼児期から大人になるまでの、生い立ちや医療・療育・教育などの情報を整理し、継続した支援を受けるためのツールとして活用するとともに、成長の記録としても活用できます。大田区のホームページからダウンロードして作成できます。



◀ 詳しくはこちら

相談窓口

相談の
秘密は
守ります

学校生活の中での相談

中学生

▶ 各学校スクールカウンセラー

概ね週に3日、通学先の学校で心理専門職の立場からお子さんや保護者からのご相談に応じます。

▶ 特別支援教育コーディネーター

各学校の特別支援教育の窓口です。学校教育の中で、特別支援教育を中心となって推進します。

▶ 教育センター 大田区池上1-32-8 池上会館4階

・教育相談 03-5748-1201

・就学相談 03-5748-1202

相談受付時間

教育相談 月曜～金曜 午前9時～午後7時
土曜・日曜 午前9時～午後5時

就学相談 月曜～金曜 午前9時～午後5時
(いずれも年末年始・祝日を除く)

心理相談員・教育相談員がご相談に応じます。

高校生

▶ 東京都教育相談センター

新宿区北新宿4-6-1 東京都子供家庭総合センター4階
0120-53-8288

▶ 東京都立中部総合精神保健福祉センター

世田谷区上北沢2-1-7 03-3302-7711

学齢期の発達障がいに関する相談

▶ 障がい者総合サポートセンター さぼーとぴあ

大田区中央4-30-11 03-6429-8524

中学生
高校生

発達の特徴が
気になる方へ

気軽に相談 しませんか?



【発行】第10版

大田区立障がい者総合サポートセンター 電話：03-6429-8549

大田区

こんなことはありませんか？



思春期はどの子も心身ともに大きく変化する時期であり、心理的な変化から情緒面が不安定になったり、行動の変化が起きやすい時期です。不登校や体調不良、対人不信や反抗的行動の背景に発達的な特性が関係している場合もありますので、早期の相談と適切な支援（環境の整備）が必要です。

反抗期？思春期？気になるな。相談しましょう！

発達障がいとは

発達障がいは、生まれつきの脳の機能障がいであり、育て方や本人の性格の問題ではありません。発達障がいのために生じる様々な困難は本人の努力だけでは解決できないことも多いですが、周囲が理解して日々の育ちを応援することで成長していきます。

それぞれの障がいの特性

知的な遅れ
をとまなうこともあります

自閉症スペクトラム障害 ASD
広汎性発達障害
(アスペルガー症候群・自閉症など)

- コミュニケーションの障がい
- 対人関係・社会性の障がい
- パターン化した行動、こだわり、興味・関心のかたより

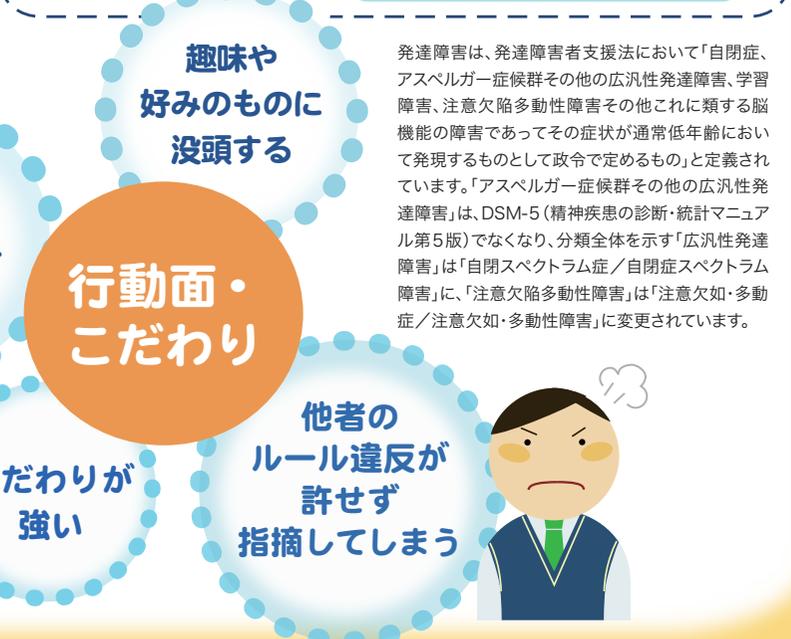
注意欠陥多動性障害 AD/HD

- 不注意（集中できない）
- 多動・多弁（じっとしていられない）
- 衝動的に行動する（考えるよりも先に動く）

※このほか、トゥレット症候群や吃音(症)なども発達障がいに含まれます。

学習障害 SLD

- 「読む」、「書く」、「計算する」等の能力が、全体的な知的発達に比べて極端に苦手



発達障害は、発達障害者支援法において「自閉症、アスペルガー症候群その他の広汎性発達障害、学習障害、注意欠陥多動性障害その他これに類する脳機能の障害であってその症状が通常低年齢において発現するものとして政令で定めるもの」と定義されています。「アスペルガー症候群その他の広汎性発達障害」は、DSM-5（精神疾患の診断・統計マニュアル第5版）でなくなり、分類全体を示す「広汎性発達障害」は「自閉スペクトラム症/自閉症スペクトラム障害」に、「注意欠陥多動性障害」は「注意欠如・多動症/注意欠如・多動性障害」に変更されています。

